

## 今月のコラム

### 設立20周年に思う

(株)ハイポネックス ジャパン 桑田博史



「ガーデンを考える会」の平成28年度通常総会は、設立20周年記念式典と合わせて6月7日に開催されます。10周年記念誌に続き20周年記念誌も発行予定で準備を進めています。その編集のまとめ役を仰せつかったことで「ガーデンを考える会」の歴史を振り返る機会を得ました。私が理事として参加したのは平成16年からで、早いもので12年が経ちました。20年の歴史において、発足から10年はガーデニングブームの追い風が吹く中でジャパンガーデニングフェアを軸とした活動、そしてその後の10年はバブルが弾けガーデニングブームの余韻がだんだん薄れていく10年であったと思います。この後半の10年はガーデントライアルの開催、ワークショップ活動、地域別のセミナー活動、東日本大震災支援活動、そして新たに東京オリンピックに向けた「花と緑のおもてなしプロジェクト」の取り組みを開始するなど、活動を多様化させてきました。しかしながらガーデニング業界は曇天が続く、家庭菜園ブームという薄日がさしましたが、晴天になるパワーは不足だったようです。「ガーデンを考える会」が進むべきこれからの道は如何にあるべきか、出発点に戻ってもう一度、考える時ではないでしょうか。

レジャー白書は毎年発表されており、2013年の園芸・庭いじり参加人口は2790万人と近年で最低でしたが2014年は3000万人と回復しております。2015年の数字が気になるところです。この年の最も重視する余暇活動上位5種は1位:国内観光旅行、2位:読書、3位:海外旅行、4位:ウォーキング、5位:園芸・庭いじりでした。満足度調査の結果は別表の通りです。園芸・庭いじりの「満足している」割合は海外旅行、音楽会・コンサートが50%以上であるのに比べて、その半分の25%しかありません。4人に3人は「やや満足している」「やや満足していない」人で、なにがしらかの物足りなさを感じているのです。何が不足しているのでしょうか。園芸肥料メーカーの立場で考えると、植物を育てることは我が子を手塩に掛けて育てるのと同じで、手間を惜しまず、それを楽しみとして育てて欲しいと願っています。来年はもっと大きく美しく咲かせるぞとアタック精神で楽しみを倍増させて欲しいものです。でも現実には枯らしてしまった、期待したように花が咲かない、実が着かなかったと、あきらめてしまう人が多いようです。釣りは人気レジャーの一つですが一匹も釣れない時もあります。でも釣りを嫌いになることはなく、今度こそはと意気込みます。この意気込みの差は我々がガーデニングの魅力をアピールする努力不足を示しているのかもしれない。

「やや満足している」を「満足している」にする活動が「ガーデンを考える会」のミッションであり、ガーデンに関わる幅広い業界の集まりだからこそできる活動のように思います。業界の活性化に向けて一歩一歩前進あるのみです。本会の理事の新旧交代が進んできました。若い元気の理事の増加は頼もしいかぎりです。6月7日の通常総会は大阪で開催されます。会員の皆様で大いに総会を盛り上げて頂きますよう、多数のご参加をお願い申し上げます。

最も重視する余暇活動の種目に対する満足度(2013年)(%)

種目	満足している	やや満足している	どちらともいえない ～満足していない
海外旅行	50.4	43.6	6.1
音楽会・コンサート	52.3	34.2	13.5
国内観光旅行	27.0	58.3	14.8
読書	32.7	47.5	19.7
ウォーキング	28.9	50.8	20.4
園芸・庭いじり	25.9	50.9	23.3



カエデ  
kaede

研修委 3月大阪セミナー報告

ガーデンを考える会 3月度例会 感想文

株式会社ニチカン  
中河 元

今回は、道頓堀ホテルの差別化戦略という表題で、道頓堀ホテル代表橋本正権氏から講演をしていただいた。ガーデン会とは違う、ホテル業界の話であったので、参加されている皆さんがどのように反応されるか主催者側としては、多少不安があった。しかし、ホテルの宴会部門を切り盛りして、社員さんの使命感にどの様に火をつけていったかの苦労話は、どの方にも勉強になったと思う。特に、社風を変えるために勉強会をやったり、社員が参加したHPを作成したり、特別プレゼントのDVD作成の専門部署を作ったり。本当にアイデアを形にするために、それにより業績をアップさせるためによく学ばれ、努力されていることに感心しました。

また、今回は前半に講演してもらった宴会についての差別化戦略の集大成の、懇親会が大変好評だった。私も、皆さんと共に楽しませていただきました。普段は、見れない皆さんの笑顔が見れこれとてもよかった。二人羽織、パターでの勝負、歌合戦、アームレスリングなど、参加型の宴会は非常に盛り上がった。また、途中で今後是非また、道頓堀ホテルを宴会に使用したいとの意見がちらほらあり、皆さんも心から楽しんでいただけたと感じた。勉強になり、且つとても楽しい研修会になった。



セミナー会場



道頓堀ホテル社長・橋本講師



早飲み競争の「二人羽織」。グラスを持つ人は飲む人の顔が見えない



ゲームとはいえパターゴルフも真剣に



手拍子などで盛り上がる歌合戦



チーム分けしているの、応援も気が入る



カエデ  
kaede

お知らせ

**NPO 法人ガーデンを考える会  
平成28年度通常総会・20周年式典・総会記念セミナー**

ぜひお誘いあわせの上で参加ください

日時：6月7日(火)13：30～14：45総会、15：00～17：15セミナー、17:30～19：30懇親会

会場：JR大阪駅前会議室ユーズ・ツウ

**総会記念セミナー**

**【ダンチデノウチ UR余剰住宅を活用した消費者主体の農業ビジネス】**

講師：竹中工務店 吉田幸正氏

団地が老朽化・余剰化し再生の時期を迎えている。日照と間取りを活かし、耐震性を高めた立体農地に変える。新たな社会的価値を創造する、その仕組みとは。日本建築学会技術部門設計競技最優秀賞受賞のビジネスモデル。



**【常識を疑え！そして種を蒔こう～自然からのメッセージに耳を傾けて30年】**

講師：フローラ21/あぐりきっず 坂寄潮氏

花苗サフィニアなどを育種したこと(サントリー花事業部時代)で知られる氏。また地球温暖化による高温障害の影響を受けやすいコシヒカリの次世代品種「みどり豊」を作出。新しい価値を持った品種を世界中の消費者に提供する歩みと、未来に向かって種を蒔くことの大切さを語る。



◆問合・申込 ガーデンを考える会事務局 TEL：052-571-7911 FAX：052-571-2208

業界ニュース

**名古屋の真ん中・栄でガーデニングショー  
第1回フラリエみらい花フェスタ**

ふらりと立ち寄れる花いっぱいのアトリエ『フラリエ』の愛称で親しまれている名古屋・栄にある久屋大通庭園フラリエ(旧ランの館)で、4月15日～17日に「フラリエみらい花フェスタ」が初めて開催された。今までにない質の高い花と緑のあるライフスタイルを名古屋から発信させようと、地元の庭や緑、花関係者などが実行委員会を立ち上げた。実行委員長は涌井雅之氏。

19人の若手ガーデナーによる「みらい」をテーマにしたガーデニングコンテストを始めハンギングバスケットや寄せ植え、英国園芸研究家・吉谷桂子氏によるメインガーデンおよび公開講座、花やグッズの即売コーナーなど多彩な展開に多くの人が楽しんだ。



(左より)大村愛知県知事、涌井実行委員長、吉谷桂子さんによるオープンセレモニー



金賞を受賞した梅村庭苑さんと石積みをもソフトタッチで提案した作品



都心で買えるとおって賑わう花などの販売コーナー



「みらい」をテーマに花に囲まれたライフスタイルを提案した吉谷桂子氏によるメインガーデン



カエデ  
kaede



## クラークは「まもるん」カンパニー

風薫る頃、緑とふれあうのにも一番良い時期となりました。店頭にあさがおの種や苗がお目見えする頃でしょうか。当社はネット（網）を主とする「繊維資材製品に私たちの心をのせて、人々と、人々の大切な人やものを守り、安心して心地よく、楽しい生活をお届け」（当社経営理念より抜粋）する会社です。製品分野は当社サイトに譲りますが、中でもアサガオなどのつる性植物誘引ネット「花すだれ」は当社が緑の分野でご縁をいただききっかけとなりました。当初はネットをお届けすることを通じて誘引作業の簡便化を提供していたのですが、後に省エネ・節電意識の高揚等ライフスタイルの変化によりみどりのカーテンがトレンドとなり、定着していきました。

また、当社地元の中部国際空港では毎年季節になると地元の高校生の皆さんがパッションフルーツ等でみどりのカーテンを育てていらっしゃいます。世界中からのお客様を緑でおもてなししようというものです。つまり、当社はネット（網）を販売しているのではなく、ネットを通じて「安心して心地よく、楽しい生活をお届け」しているということです。大量生産・大量消費は遠い過去の遺物となり、関係性を構築・深化させたいお客様層に対する適切な情報発信により植物や資材を通じておつきあいをさせていただく時代になりました。



お客様の季節の営みや人生のイベントに文字通り花を添えて演出のお手伝いをさせていただき、そんなおつきあいを広げようという発想が大切なのではないのでしょうか。IoTやAI、そしてロボット等従来人が担ってきた仕事が加速度的に置き換わりつつあります。心と心のおつきあいのための心配りや気遣いのお手伝いこそ機械にはできない部分です。当社は今後も企業行動基準に掲げる「Earth-conscious & Human-conscious」を製品や企業行動に反映させながらお客様に喜んでいただける会社であり続けるよう努力していきたいと考えています。



クラーク(株)  
坂倉 弘康



## 会員紹介

### メネダール株式会社

創業以来、弊社は植物活力素メネダールの普及一筋に取り組んで参り、一昨年12月にはお陰様で60周年を迎えることが出来ました。

安心・安全が重視される今日の社会環境の中で、安全で使用が容易な特徴を生かして、より多くのお客様の園芸ライフに貢献できるようさらなる普及を目指しております。

一方、関連する取扱商品の多角化にも積極的に取組み、2016年3月には『ABC標準培養土シリーズ』を発表し、新たな分野への挑戦も始めております。

微力ながら、日本の、そして世界の農園芸分野のさらなる発展に少しでも貢献できる企業を目指して努力して参りますので、ご愛顧、お引き立てのほどよろしくお願ひ申し上げます。

大阪市中央区高麗橋 4 丁目 4-9 淀屋橋ダイビル  
TEL 06-6209-8041 FAX 06-6209-8061  
HP <http://www.menedael.co.jp/>

